

令和6年3月13日

「一般国道4号水沢金ヶ崎道路」新規事業化が 社会資本整備審議会道路分科会事業評価部会において 妥当と判断されました

このことに関し、市長からコメントが出されましたのでお知らせします。

《市長コメント》

昨日開催された国の社会資本整備審議会道路分科会事業評価部会において、一般国道4号水沢金ヶ崎道路の新規事業採択時評価について審議され、妥当であるとの判断が示されました。

このことにつきましては、水沢金ヶ崎道路の新規事業化に向けた大きな前進であり、心より歓迎するものであります。

当該区間は、並行して走る東北自動車道と共に物流の大動脈であり、重要物流道路として指定されておりますが、2車線区間となっており、物流の効率化や交通混雑、それに伴う交通事故の解消、救急搬送する際の幅員が狭く救急車両の追い越しが困難であり、円滑な救急搬送経路の確保が課題となっております。

周辺工業団地においては、自動車関連産業や半導体産業等の集積に伴い、関連企業の立地が急増しており、従業員の定住化促進や生活道路として利便性向上が期待されております。

また、東北自動車道インターチェンジへのアクセス円滑化や、主要幹線道路としての機能強化に資する道路整備が求められており、当該区間の新規事業化は、地域間の交流・連携や安心・安全な通行空間の確保、円滑な物流・救急医療活動の実現に大きく寄与するものと認識しております。

これまで、本市は「国道4号岩手県南地域拡幅整備促進期成同盟会」の一員として、北上市、花巻市、金ヶ崎町及び民間団体と共に、国への要望活動を行って参りましたが、多大なるご尽力をいただいた国・岩手県をはじめ、関係機関に厚く御礼を申し上げます。

引き続き関係団体と一体となり、当該事業に全面的に協力してまいります。

奥州市長 倉 成 淳